

農地・水・環境 だより【第1号】

【 栃木県農地・水・環境保全向上対策通信 】

編集・発行 栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会
〒321-0901 宇都宮市平出町1260 水土里ネットとちぎ
TEL:028-660-5706 FAX:028-660-5729
E-mail: doren-s4@snow.ucatv.ne.jp
http://www.tcgnouchimizu.net/

県協議会からのお知らせ



平成19年度の県内の取組状況 (平成19年12月までの活動実績から)

地区の採択状況

平成19年度は取組初年度であるため、地域の合意形成や活動計画策定、申請書類等の準備等から、採択申請が5月以降となりましたが、申請期限である8月31日までに全要望266地区が採択されました。

活動への参加状況 (平成19年12月までの活動実績から)

構成員別の参加状況

農業者 83,738人 (62.3%) 非農業者 43,199人 (32.1%)
非構成員 7,491人 (5.6%)

農業者の参加状況

基礎部分活動 42,263人 (50.5%) 農地・水向上活動 15,531人 (18.5%)
農村環境向上活動 25,944人 (31.0%)

非農業者の参加状況

基礎部分活動 12,155人 (28.1%) 農地・水向上活動 5,028人 (11.7%)
農村環境向上活動 26,016人 (60.2%)

非構成員の参加状況

基礎部分活動 1,008人 (13.5%) 農地・水向上活動 418人 (5.5%)
農村環境向上活動 6,065人 (81.0%)

活動項目別の参加状況 (平成19年12月までの活動実績から)

基礎部分活動

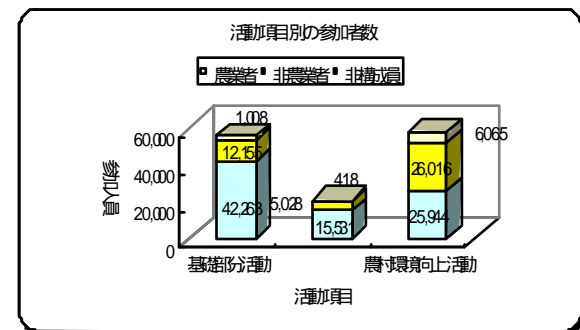
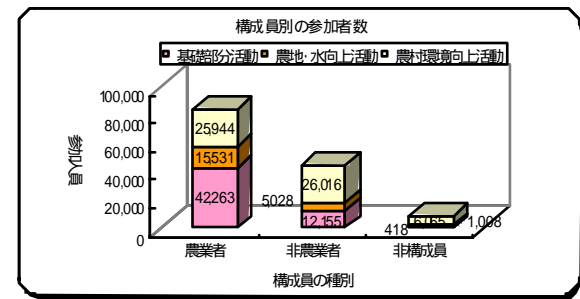
農業者 (76.3%) 非農業者 (21.9%) 非構成員 (1.8%)

農地・水向上活動

農業者 (74.0%) 非農業者 (24.0%) 非構成員 (2.0%)

農村環境向上活動

農業者 (44.7%) 非農業者 (44.8%) 非構成員 (10.5%)



成果

【田んぼまわりの生きもの調査】

生きものに関する全県的なデータが確認されました。
地域の声

昔と今の生息状況の違い(生息数や種類の減少、外来種の増加)を実感し、地域の環境について改めて考える機会になるとともに、調査の充実や生態系保全に向けた取組への気運が高まりました。



子ども達の取り組む姿が生き生きとして取り組み、環境教育の点でも効果的であった。

多くの地域住民が参加し、一体となって取り組んだことで“地域のまとまり”が強化されました。

【遊休農地の復旧・管理】

活動区域内農地の点検の結果、60組織から遊休農地54.0haの存在が報告されました。

解消に向けた活動

45組織が解消に向けた共同活動に取り組み、32.1haが耕作可能な状態に復旧されました。

次年度以降も計画的に取り組まれていく予定です。

復旧した農地の利用

普及した農地のうち、12.8haが農地として再利用され、これ以外は景観植物の植栽や保全管理地として利用されています。



平成19年度課題と重点項目について (平成19年12月までの活動実績から)

(1) 19年度の取組を通じた課題

活動区分	内 容
基礎部分	活動が十分でない組織が一部あった
農地・水向上活動	施設の点検・診断や長持ちさせるための補修活動等の取組が少なかった
農村環境向上活動	生きもの調査や景観植物の植栽以外の取組が少なかった
組織運営	参加人数が少ない、日当の割合が高い、構成員間の連携が十分でない、農業振興施策との連携が十分でない組織があった

(2) 20年度の重点項目

この対策は地域の協働力(協力し合って共同で取り組む力)を高めながら、生産資源や農村の環境を将来的にも維持できる新しい仕組みをつくり、地域の農業振興や活性化を図ることを目的としています。

活動の質的・量的向上

組織運営の充実強化

水田経営所得安定対策等との連携強化

等に関する話し合いをさらに充実させ、将来像(農業や環境のあるべき姿)を明らかにし、また、みんなで共有しながら対策を上手に活用し、多くの人の理解と参画の下に元気な地域づくりを進めましょう。

詳細は県協議会が開催する説明会で紹介します



地域のトピックス



簡易な水田魚道の設置【下田原南部地域資源保全隊】

4月12日(土)、下田原南部地域資源保全隊(宇都宮市下田原町:齋藤悟代表)では、魚の生息環境を守るため、「簡易な水田魚道」を2箇所設置しました。「角形U字溝可動式180mm」「波付丸形管100mm」タイプ
当日は、朝から設置水路の補修などの共同作業に取り組み、準備が整ったところで、「メダカリ親の会(会長:水谷宇都宮大学教授)」会員の支援のもと、賑やかに楽しく魚道を設置しました。

今後は、水田への魚の遡上状況の確認など、効果を地域みんなで見守っていくとともに、今年の「田んぼまわりの生きもの調査」に向けて楽しみが増したといった声等もありました。

これからも、農業者はもとより、地域住民の方にも環境に対する関心を深めていただき、一緒に楽しみ、そして考えながら活動を充実させていきたいと考えています。

今回は、水路と水田の間に農道がある特殊な現地でしたので、作業は2時間程度、材料費は、7万円程度でした。

角形U字溝可動式180mm

設置箇所の事前整備 

組み立て作業 

水漏れ試験(合格) 

横から見た魚道 

上流から見た魚道 

波付丸形管150mm

波形管魚道の完成(横から) 

受け台の組み立て 

既存の道路横断管利用 

波形管魚道(下流から) 

「簡易な水田魚道」は1月20日の県協議会主催研修会で紹介しましたが、設置は比較的容易です。但し、水田の排水や漏水防止といった留意点がありますので、設置を検討する場合は、栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会、または、市町・農業振興事務所、「メダカリ親の会」に相談願います。

参考「メダカリ親の会」の連絡先：
宇都宮市平出町1052-8 中茎事務局長方 (TEL&FAX028-663-2554)
ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/medaka-satooya/>

県協議会からのお知らせ

???? 県協議会のホームページを御存知ですか ???? ?

県協議会では、対策に関する情報提供の一環としてホームページを開設しています。

栃木県における各地の取組状況や各活動組織の概要の他、19年度の生きもの調査結果の概要、さらには関係書類の様式、組織が作成する書類の作成例等を紹介しています。

これからも共同の取組について、多くの県民の皆様へ情報発信するとともに、組織間の情報交流を促していきたいと考えていますので、県協議会に多くの情報をお寄せ下さい。

アドレス：<http://www.tcgnochimizu.net/>

(問い合わせは、県協議会まで)